

【ホール打合せお渡し資料 (2)】

浅草公会堂 ホール利用のガイドライン

第6版 2022年4月1日

浅草公会堂 管理事務所

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症は、引き続き先行きの見えない状況が続きます。ワクチン接種を済ませている場合にも改めて基本的な対策を徹底することが求められています。浅草公会堂のホールをご利用になる主催者様には、スタッフや出演者、そして催し物を楽しみに来館されるお客様方の感染を防ぎ健康を守るために、引き続きガイドラインの遵守をお願いすることになります。

このガイドラインは公益社団法人全国公立文化施設協会および一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークが発表した各ガイドライン、ならびに台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿って、ホールを利用される際にご注意頂くこと、そして前もってご準備頂きたいことなどをまとめています。主催者様にはこれらの内容にご同意頂き、ホール管理者と十分な打合せを行った上で催し物開催当日に臨んで頂ければと存じます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

【定員】

客席

出演者と最前列にお座りのお客様との間に、2メートルの距離が保たれるように感染対策をお願い致します。客席の定員は「大声(注1)の有無」で異なります。

(注1)「大声」の定義

観客等が、(ア)通常よりも大きな声量で、(イ)反復・継続的に声を発することを「大声」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする。

(令和3年11月25日 東京都発表「基本的対策徹底期間における対応」より)

(1)「大声(注1)なし」の場合

1,074名 ※うち4席は車椅子スペース(設置座席数は1,070席)

1階席 549名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は545席)

2階席 336名 / 3階席 189名

※花道を使用する場合

998名 ※うち4席は車椅子スペース(設置座席数は994席)

1階席 473名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は469席)

2階席 336名 / 3階席 189名

(2)「大声(注1)あり」の場合 = 定員の50%

※「大声あり」の場合、座席間は1席空けること(東京都「イベント開催等における必要な感染防止策」より)

539名 ※うち4席は車椅子スペース

1階席 276名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は272席)

2階席 168名 / 3階席 95名

※花道を使用する場合

501名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は487席)

1階席 238名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は234席)

2階席 168名 / 3階席 95名

客席以外の定員

第1楽屋	21名	第2楽屋	33名	第3楽屋	13名
出演者控室	35名	個室楽屋A	3名	個室楽屋B	3名
リハーサル室	25名				

出演者が入れ替わって楽屋を使用する場合、定員超にならないように使用時間も設定をしてください。

【 浅草公会堂の役割 】

(1) 外部からの入場口に消毒液の設置

- ・エントランス入口3カ所/楽屋口/駐車場エレベーターホール

(2) 館内の消毒

- ・ホールのドアノブ、手すり、客席肘掛け等共有接触部分の消毒
- ・ロビーのソファ、テーブルの消毒
- ・楽屋内イス、テーブル、座布団等備品の消毒
- ・舞台上で使用する備品の消毒
- ・エントランスドア、階段手すり、トイレ、エレベーターボタン等の消毒

※ご利用時間中の公会堂清掃員による消毒作業は基本ありません。トイレのみ巡回清掃を致します。

(3) ホール、ロビーの換気

- ・ホール内、ロビーは通常よりも外気を多く取り入れた換気を随時行います。ただし室温に応じて換気量は変動します。

(4) 職員の感染防止策

- ・毎日検温し、体調不良の者は自宅待機とします。
- ・マスクを着用し手指の消毒、うがい等を徹底します。

【 主催者の役割 】

◆浅草公会堂に入館される全ての来場者（観客）、出演者、スタッフの健康状態の確認

主催関係者や出演者、スタッフ、来場者（観客）について開催日前2週間において

下記【セルフチェック項目】に該当する場合は来館来場を見合わせるよう周知徹底してください。

【セルフチェック項目】

- ◇ 発熱 37.5 度以上または平熱比 1 度超過
- ◇ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ◇ 臭覚、味覚の異常
- ◇ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）を感じる
- ◇ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
- ◇ 感染が疑われる身近な知人や家族、また感染症陽性者との濃厚接触
- ◇ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航ならびに当該在住者と濃厚接触

浅草公会堂に入館の際は、来場者（観客）、出演者、スタッフ問わず、必ず検温の上、平熱であることを確認してください。検温の実施場所については、主催者様にてご検討ください。

入館後、【セルフチェック項目】に該当するような症状が確認された場合、速やかに管理事務所にご連絡ください。当該者を隔離し、濃厚接触者が増えないよう対応をしてください。

発熱受診相談センター

台東区：03-3847-9402（平日9時～17時）

東京都：03-5320-4592（土日祝を含む24時間対応）

◆感染予防対策の周知徹底

- 【セルフチェック項目】に該当する場合、入館を見合わせて頂くこと
- 咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底頂くこと
- ソーシャルディスタンスを確保頂く事

来場するお客様に向けて、ホームページやSNS、また公演チラシ、ポスター等を通じて事前に感染予防策の周知を行ってください。公演当日も改めて周知を重ねてください。

出演者・関係者に向けても、事前の周知をお願い致します。

◆密にならない対策

館内において、密にならない対策を講じて下さい。

必ず人員整理の係員を各所配置してください。

密な状況が見受けられた場合には、対応頂くよう会場整理責任者の方にご連絡致します。

- ・客席 観客の大声の有無により、使用する座席を決定してください
出演者と観客の間は2メートルを取るようになしてください
場内の換気を心がけてください
- ・楽屋 各楽屋の定員を守ってください
換気を心がけてください
- ・舞台上 舞台上で密にならないよう演出面を考慮してください
舞台袖が密にならないよう、人の出入り・配置を計画してください
- ・ロビー 開場時間や休憩時間を長めに設定することで混雑緩和を図って下さい
チケットもぎり簡略化（お客様がもぎり目視で確認、電子チケット）をご検討ください
入場待機場所の設置と十分な係員の配置をお願いします
入場者が多い場合は、時間差での入退場をご検討頂き混雑しないようにしてください
休憩スペースが混雑した場合、分散してのご利用を促してください
休憩スペース等で、マスクを外した状態で会話をするような状況はご遠慮ください
お化粧室が混み合わないよう、列の整理や休憩時間の取り方を工夫してください

◆主催関係者・出演者・来場者の緊急連絡先の把握

- ・主催者は関係者や出演者の氏名・緊急連絡先を把握し、名簿作成をお願いします。
- ・来場者に関してはチケットシステムや記入用紙の配布・収集等により、氏名・連絡先の把握に努めてください。
- ・主催者は感染の疑いや感染が発生した場合に備え、保健所等の公的機関が実施する調査に協力できるよう準備をお願いします。また来場者に対してこうした情報が公的機関へ提供される旨を事前に周知させてください。

◆具体的な対応策について

来場者（観客）に対して

- ・3頁に記載の【セルフチェック項目】の該当者は入場しないよう要請してください。
- ・検温実施には非接触型体温計での測定、サーモカメラによる検温を推奨します。
- ・余裕を持った入場時間を設定し、来場者の集まり具合で密を避けるため、開場時間の前倒しや客席エリア毎の入場等の対策を行ってください。
- ・入場時のチケット受け渡しや販売の際には対面感染予防としてアクリル板を立てたり透明ビニールシートで飛沫感染を防いだりする等の対策を行ってください。（公会堂入口の切符売場の利用を推奨

します)

- ・退場時は、余裕をもった退場時間を設定してください。
- ・券種、エリア毎など、時間差で退場できるよう工夫し、混乱のないよう係員が誘導してください。
- ・入り待ち・出待ち、面会はしないよう呼びかけてください。
- ・プレゼントや差し入れは控えるよう呼びかけてください。
- ・オペラグラス等の貸出は極力控え、やむを得ない場合は十分消毒を行ってください。
- ・チラシ、アンケート、サンプリングなど手渡しでの配布は避けてください。

ホール内の感染防止策

- ・接触感染や飛沫感染の防止のため、消毒や換気を行い、マスク着用と会話の抑制等、複合的な予防措置に努めてください。
- ・こまめに客席の扉を開けてホール内の換気に努めて下さい。そのため上演時間、休憩時間を調整してください。また催し物の進行・演出に支障が無ければ、客席の扉を開放したまま上演することを推奨します。
- ・ロビー・客席内での大声での会話等は控えていただくよう周知してください。
- ・出演者が来場者と接触したり、飛沫感染に繋がるような演出（客席降り・ハイタッチ・来場者を舞台上へ上げる・声援の促し・客席での歌唱や唱和・握手会やお見送り等）は行わないでください。
- ・開演前や休憩時間においてロビーやトイレの混雑を防ぐため、開場時間や休憩時間は余裕を持って設定してください。また係員を配置して適切な誘導に努めてください。
- ・客席内の飲食は禁止です。ロビーでの飲食も熱中症予防の水分補給等、必要最低限としてください。やむを得ない場合は時間やエリアを定め主催者側で感染症予防の十分な対策を施し、使用後は消毒を行ってください。

物販に関して

- ・来場者の密集が予想される物販は中止するか、販売品目を減らす（プログラムのみ等）、又はオンライン販売を行うなどの対策を検討してください。
- ・来場者との接触を減らすため、現金の受け渡しにトレイ等を利用するなど工夫してください。
- ・物販の列は間隔（最低1m）を開けて整列して頂くよう案内、表示をしてください。
- ・物販に関わる係員は、マスクの着用と手指の消毒を徹底してください。
- ・ユニフォームや衣服は清潔な物を着用してください。
- ・対面で販売する際は、アクリル板や透明ビニールシートを活用してください。
- ・多数が触れるサンプルや見本品は置かないでください。
- ・大声を發する呼び込みはご遠慮ください。

主催関係者、出演者、スタッフの感染予防策

- ・公演運営に必要な適正人数としてください。
- ・主催関係者、出演者はすべて3頁に記載の【セルフチェック項目】を確認し、該当する項目がある場合には来館を控えてください。

- ・外部からの入場口各所には消毒液を設置してありますが、ご利用の各楽屋や舞台袖、その他必要と思われる場所には、主催者側で設置をお願いします。
- ・楽屋や舞台袖ではマスクを着用し、ソーシャルディスタンス（最低 1m）が保てる間隔をとると共に、長時間の会話やおしゃべりを避ける等ご配慮ください。また手指の消毒を徹底してください。
- ・楽屋内は定期的に十分な換気を行ってください。
- ・楽屋内に共有物として設置してあった茶器類、スリッパ、ハンガー等は感染予防の観点からすべて撤去していますので、利用の際は各自でご用意ください。
- ・楽屋内での飲食には注意を払い、不特定多数が利用するケータリングスペースの設置は控えてください。
- ・楽屋への関係者以外の出入りや面会（家族・ファン・来客・出前等）は出来る限り制限してください。面会者の名簿作成を推奨します。
- ・機材や備品、用具等の取扱者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- ・仕込み、リハーサル、撤去に十分な時間を設定してください。
- ・仕込みやリハーサル時間にお客様エリア（客席・ロビー等）をスタッフの待機場所や食事場所として使用しないで下さい。スタッフ用の控室（楽屋等）を用意するか、やむを得ない場合はエリアを決めてご利用ください。その場合はお客様入場前に、主催者側で必ず消毒を行ってください。
- ・外部舞台スタッフによる公会堂の備品や舞台機器の操作がある場合は、終演後消毒等にご協力いただきます。消毒方法については、必ず公会堂舞台スタッフの指示に従ってください。
- ・消毒の時間は撤収時間としてホールの利用時間に含まれますので、スケジュールを作成する際にご注意ください。

◆公演後に関して

- ・作成した関係者や出演者、来場者の名簿は最低 1 ヶ月以上の保管をお願いします。
- ・公演参加者（関係者含む）が施設利用後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合、速やかに浅草公会堂管理事務所までご連絡ください。
- ・保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要に応じて情報提供をしてください。

本ガイドラインは新型コロナウイルスの感染状況における動向を踏まえ、必要に応じて対処方針の変更や適宜改定を行うものとします。

20200619（第1版）／20200710（第2版）／20200807（第3版）／20201201（第4版）／20211209（第5版）
20220401（第6版）